

スーダン、カトリック学校への爆撃

スーダン空軍の飛行機が、同国南部の Bahr al-Ghazal 地方の Panlit にあるカトリックの学校を爆撃した。目撃者によれば、爆撃は朝の 11 時、700 名の生徒が授業を受けていたときに始まった。爆撃機は 3 度学校の上空に現れ、合計 40 発の爆弾を投下し、最後に学校を直撃した。

爆撃は翌日 Anyiel Abial でも行われた。Panlit のミッションスクールは 1990 年に Obeid の司教である Macram Max Gassis 司教がその地方に生活する難民のために建てたものである。同司教は、スーダンにおける人権擁護の旗手であるが、1990 年からケニアで亡命生活を余儀なくされている。この学校への爆撃はここ 9 か月の間にされた第四番目の爆撃である。

(PALABRA, 439, I-2001, pp.16-17)

注、スーダンの人口の約 90% はイスラム教徒で、キリスト教徒は 10% 弱である。そのキリスト教徒の大部分は国の南部に集中しているが、イスラム化政策を推し進めるイスラム原理主義者たちの政府によってひどい迫害を受けている。